

9/15(火)13:30~16:50 実践セミナー

参加にあたって

- ・分科会は第1希望から第2希望までお聞きし、調整します
- ・同じ所属から複数の方が参加される場合でも、一人ずつお申込みください
- ・グループワークを行いますので、一人一台の機器(PC等)でご参加ください

<全体会>13:30~14:10

「イマドキの大学生を惹きつけるコーディネート ~コスパ・タイバ重視のニーズにどう応えるか~」
ゲスト: 滝井 元視さん(高崎商科大学短期大学部准教授、キャリアコンサルタント)

<分科会>14:20~16:50 ※いずれか1つにご参加いただきます

- 【分科会1】ボランティアを“選ばない”から“選びたい”へ！学生の主体性を引き出す成長とキャリア支援
- 【分科会2】多様な学生スタッフのあり方とボランティアコーディネーション
- 【分科会3】学生の次の一歩を応援したい！ ~型にはめない、押してひく絶妙なコーディネートを考える~

分科会1 ボランティアを“選ばない”から“選びたい”へ！ ~学生の主体性を引き出す成長とキャリア支援~

就活の早期化に伴い、失敗を恐れて「標準化されたルール」を走る学生が増えています。その結果、サークルや趣味、偶然の出会いといった「予測不能な経験」に時間を割けなくなっているのが現状です。しかし、他者と向き合い、役割を模索し、失敗から学ぶボランティア活動こそ、確かなキャリア形成の場ではないでしょうか。本分科会では、学生がキャリアの選択肢としてボランティアを選べるよう、大学ボランティアセンターのコーディネーターがその価値をどう伝え、関わりをつくるかを皆さまと考えます。学生の可能性を広げるアプローチを、一緒に探りませんか？

話題提供者 : 滝井 元視さん(高崎商科大学短期大学部准教授、キャリアコンサルタント)
進行・事例提供: 赤澤 清孝さん(大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科教授)
秋田 有加里さん(愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター コーディネーター)
竹田 純子さん(龍谷大学ボランティア・NPO活動センター コーディネーター)

分科会2 多様な学生スタッフのあり方とボランティアコーディネーション

『大学におけるボランティア活動支援に関する全国実態調査』(2026年3月発行)によると、「ボランティア活動支援を主たる業務とする部署がある」と答えた79大学のうち約半数に「学生スタッフ・学生コーディネーター」が存在します。学生スタッフの位置づけや役割は、各大学の方針によってさまざまですが、ボランティアセンターと学生スタッフが対等なパートナーとして協働を目指すうえでどのようなコーディネーションが求められるのでしょうか。本分科会では、学生スタッフとともにボランティアを推進し、ボランティアマインドを育みあうための各大学の工夫を共有します。学生とのよりよい協働のためのヒントを持ち帰りましょう。

コメントーター: 川田 虎男さん(埼玉県立大学社会福祉子ども学科准教授/聖学院大学地域連携・教育センターアドバイザー)
話題提供者 : 上條 直美さん(フェリス女学院大学ボランティアセンター コーディネーター)
山崎 智文さん(京都産業大学ボランティアセンター コーディネーター)

分科会3 学生の次の一歩を応援したい！ ~型にはめない、押してひく絶妙なコーディネートを考える~

私たちコーディネーターは、ボラセンで見せる姿だけで学生をわかった気になっていないでしょうか？型にはめたコーディネートをしていないでしょうか？学生一人ひとりに対し、どこまで提案し踏み込むか、時間と距離を置くか、そのタイミングと関わり方を見極めるのは難しく、またマニュアルもなく、試行錯誤しています。この分科会では、事例共有とグループワークを通して、コーディネーターの絶妙なアプローチを共に考えていきます。

コメントーター: 山田 一隆さん(東海大学文理融合学部教授)
話題提供者 : 芦澤 弘子さん(青山学院大学シビックエンゲージメントセンター コーディネーター)
岡 秀和さん(関西学院大学ボランティア活動支援センター コーディネーター)
開澤 裕美さん(中央大学ボランティアセンター コーディネーター)

【企画・運営】大学ボランティアセンター職員セミナー2026実行委員会

委員: 赤澤清孝(大谷大学)、秋田有加里(愛知淑徳大学)、芦澤弘子(青山学院大学)、岡秀和(関西学院大学)、開澤裕美(中央大学)、上條直美(フェリス女学院大学)、竹田純子(龍谷大学)、山崎智文(京都産業大学)